

## 令和5年度 第6回 北区自治協議会 議事概要

**日 時** 令和5年10月26日(木)午後1時30分から

**会 場** 北地区コミュニティセンター 2階大ホール

### 出席者 委員

菊地委員、坪木委員、諏訪委員、小日向委員、飛鳥井委員、佐藤(康)委員、阿部委員、前田委員、恩田委員、清水(博)委員、有田(一)委員、佐久間委員、佐藤(茂)委員、清水(文)委員、小熊委員、此村委員、佐藤(成)委員、三浦委員、寺山委員、有田(竜)委員、野口委員、小林委員、伊藤委員、遠藤委員、川島委員、佐藤(哲)委員

(欠席：竹島委員、石山委員、横山委員、日下委員)

計26人

### 事務局

#### [北区役所関係]

区長、副区長兼地域総務課長(以下「副区長」)、区民生活課長、健康福祉課長、産業振興課長、建設課長、北出張所長、消防局北消防署長、豊栄地区公民館長、北下水道分室長、都市交通政策課職員2人、土木総務課職員1人、地域総務課長補佐2人、地域総務課職員3人、

#### [新潟県関係]

教育長、高等学校教育課長、高等学校教育課職員1人

計21人

**傍聴者** 3人

## 内 容

### 1 開会

### 2 報告事項

#### (1) 令和5年度教育委員会の事業説明における主なご質問への回答について

前田会長

次第2の報告事項(1)をご覧ください。「県立高校等再編成整備計画について」です。先回、川島委員や佐久間委員から発言を受けまして、本協議会の総務部会で協議しました。まずは内容を知ることが大切であるということで、ご多忙のところ、県教育委員会教育長の佐野様

からお越しいただきました。よろしく願いいたします。

## 県教育長

本日は北区自治協議会に説明という形でお招きいただきまして、ありがとうございます。皆さまには、日ごろから本県の教育行政、北区の教育についてご理解とご協力をいただいていると聞いております。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

はじめに、この県立高校等再編整備計画は、毎年6月末から7月の前半くらいに、今後3年間の県内の全ての高校が募集する学級数と統廃合の計画を公表しております。今回の豊栄高校と新潟北高校の統合の案件については、正式な形で公表する前にマスコミに情報が流れ新聞報道で皆さまが知ることになった件については、我々としても、情報管理の面で今後さらに気をつけていかなければならないと反省をしております。この場を借りましてお詫びを申し上げます。大変申し訳ありませんでした。今後は、その辺の情報管理もしっかりやっていきたいと思っております

本日は限られた時間ですが、豊栄高校と新潟北高校の統合の方向性、そしてその考え方について、ご説明させていただきたいと思っております。詳細は、高等学校教育課長の市野がご説明いたします。本日はよろしく願いいたします。

## 県高等学校教育課長

日ごろから豊栄高校の教育活動にご支援いただきありがとうございます。重ねて御礼申し上げます。

お手元に配布した資料の1ページをお開き願います。

中ほどの、再編整備の概要の令和8年度のところをご覧ください。計画内容は、新潟北高校と豊栄高校を統合する。新潟北高校の校舎内に、地元企業等と連携したデュアルシステムを取り入れたキャリア教育を特色とする高校、具体的には単位制による全日制課程の普通科を新たに設置します。

統合に当たり、豊栄高校の現在ある芸術コース、それから柔道を一生懸命やっていますがスポーツコースの取組みを継承し、生徒が自己研鑽に励み、自己肯定感を高められるようなコースの設定を検討しています。また、豊栄高校及び新潟北高校の卒業生の約半数は就職しており、多くの生徒が北区をはじめとする県内企業に就職をしている状況です。これを踏まえて、北区や東区、それから地元産業界と連携して、企業での長期実習を導入し、将来、地域社会や産業を支える人材の育成、これをデュアルシステムといいます。実現する方向としていく予定です。

2 ページをご覧ください。令和 8 年度のところに豊栄高校「統合」となっており、新潟北高校も「統合」になっています。その下に、新潟北・豊栄統合校とありますが、新設する統合校につきましては、現在のところ募集段階で 4 学級募集の学校とする計画です。

次に、再編整備計画の背景についてです。

最初に、中学校の卒業生数の状況についてですが、3 ページをご覧ください。全県で今春の中学校卒業生数は、1 万 8,400 人でした。今の 0 歳児が高校に入学する 15 年後の令和 20 年度春には 1 万 1,500 人程度となり、約 7,000 人減少することが想定されています。これは今春の卒業生に対して約 62.5 パーセントという割合です。この 7,000 人という数は、一クラス今 40 人ですので、これに換算しますと、約 170 学級分が減少しなければいけないということになります。

4 ページをご覧ください。北区の状況です。人口の推移ですが、北区はさらに減少幅が大きく、今春は 635 人の中学校卒業生がいましたが、20 年後には 365 人と、270 人程度減少する見込みです。今春の 57 パーセントまで減少するということです。

5 ページ目をご覧ください。豊栄高校と新潟北高校の志願状況等です。

まず、豊栄高校の志願状況ですが、5 年分が載っています。募集学級は、令和元年度は 3 学級募集、令和 2 年度以降、この春までは 2 学級募集です。よって、募集定員は 120 人から 80 人程度に減っています。志願倍率は、いずれも 1 倍を大きく下回り、しばらく 0.6 倍前後で推移していたのですが、この春は 0.49 倍です。入学者数です。例えば令和元年度ですと 120 人募集に対して入学者数は 85 人でした。したがって、35 人定員割れということになります。毎年 1 学級規模の定員割れが続いていて、新潟北高校についても同様な状況です。豊栄高校と新潟北高校を合わせると、2 学級を超える、90 人程度の定員割れが毎年生じています。さらに、北区出身の中学校卒業生のうち、どのくらいが豊栄高校に入っているのかという数ですが、令和元年度は 635 人、中学校を卒業しましたが、地元から豊栄高校には 54 人が入学しています。8.5 パーセントです。年々減る傾向にあり、令和 5 年度春を見ていただくと、3.3 パーセント、わずか 21 人しか豊栄高校に入学していないという状況です。

このままの状況では、高校での教育活動を維持することは難しくなることが想定されます。我々としては、今のうちに、5 年、10 年先を見据えた教育環境づくりに向けて取り組むことが急務であると考えています。県教育委員会としては、これからこの地域に生まれてくる子どもたちも含めて、この地域の教育環境をどのようにしていくか、長期的な視野に立って考えたときに、今後、豊栄高校と新潟北高校を統合する決断に至りました。豊栄高校は卒業生の約半数が地元就職しており、この傾向は北高校も同じです。統合によって学級規模をある程度大きくし、教育課程の充実、地域を支える人材を育成する学校としての役割を新設校

に引きついでいくことを進めていきたいと考えています。

最後に、在校生のサポートについてです。豊栄高校は、来年度、令和6年度と令和7年度については引き続き生徒募集を行います。令和8年度の募集停止以降は、学級数も少なくなっていくと思いますが、豊栄高校だけで完結するのではなく、例えば新潟北高校や新設校との連携を教育活動の中に取り入れていき、学級数が少なくなる中でも、教育の充実化を図っていきたいと考えています。県教育委員会としましては、在校生の皆さんはもちろん、来年、再来年、豊栄高校に入学してくる生徒の皆さんが、これまでと同じように充実した高校生活をおくることができるように、学校と連携しながら支援を進めてまいります。北区自治協議会の皆さまには、本計画についてご理解いただくとともに、引き続き、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

#### **前田会長**

今の説明について、何かご質問やご意見がございましたら、お願いします。

#### **川島委員**

豊栄高校と新潟北高校が統合するということは、通う校舎も一か所になるということを考えているのでしょうか。

#### **県高等学校教育課長**

通う校舎は新潟北高校の校舎となります。ただし、新潟北高校ではなくて、豊栄高校と新潟北高校の新しい学校に通うということになります。場所は新潟北高校の校舎となります。

#### **佐久間委員**

豊栄高校は地元の入学者数と割合を出してありますが、新潟北高校は東区にあるので、東区の地元の入学者数と割合は分かりますか。これがないと比較にならないと思ったのです。

#### **県高等学校教育課長**

東区の子どもが新潟北高校にどれくらい行っているかという割合は、今持ち合わせていません。新潟北高校への北区からの入学生は、毎年50人程度が入っています。

#### **小日向委員**

たしかに人数が減ってきていますが、例えば北区の中で卒業生、同窓会等をとおして、募

集定員を運動等いろいろ努力して、入学定員が増えた場合は、延期ということもありますか。令和8年統合というのは変わらないということでしょうか。

### 県高等学校教育課長

地元の皆さまから募集についての反対意見は伺っておりますし、一生懸命豊栄高校の募集にこれからご支援いただけるようなことは伺っております。ただし、1年、2年、例えば募集定員を超えたとしても、長期的にみた場合、地元の子どもたちのことを思って、我々としては、1年、2年ではなく、その先も見越しています。ある程度、生徒の数がいた時点で統合したほうが、統合後の学校での教育活動は活性化が図れると思っておりますので、我々としては、統合する予定であります。

### 県教育長

令和8年度に統合するという方針は、よほどのことがない限り変更はありません。よほどのことというのは、さまざま天変地異があるかもしれませんので、そういう状況の中でのいうことはあるかもしれませんが、募集定員を多少、1年満たしたということで変わることはありません。それは、今ほど課長が申し上げたように、5年先、10年先、15年先をみたときに、ずっとそれが続けられるかというところに、我々としては、それは難しいという判断をしているということです。

もう一つは、毎年、3年間の計画を出しているというのはなぜかという、3年後、今の中学1年生の生徒さんに3年後の高校の募集の形はこうなりますということをきちんと示す必要があるからお出ししております。ということは、今回、中学1年生の皆さんに、3年後、令和8年度にこういう新しい統合校を新潟北高校のあとに作りますということを約束していることになるので、それについては簡単には変えるつもりはございません。

### 恩田委員

私は、統合はやむを得ないと思っておりますが、新潟北高校の校舎を使うということがまだよく分かっていません。くだけた話をすれば、豊栄に置いてもらえれば、新潟北高校でいいのではないのでしょうかと私は思っています。なぜ東区のところに、新潟北高校の校舎を使うのかという、はっきりした理由が分からないので教えてもらいたいと思います。

### 県高等学校教育課長

歴史でいえば豊栄高校のほうが古く、校舎も当然古いわけです。我々としましては、統合

校については、地元北区はもちろんですが、東区やできるだけ遠くからもいろいろな生徒に集まってほしいという思いもあります。生徒にとって通いやすい学校を考えた場合、大形駅から非常に近い。校舎も、当然、新潟北高校のほうが新しい。この先の使用耐用年数等を考えると、やはり新潟北高校にしたということです。

### **伊藤委員**

私は豊栄高校のすぐ隣接の地域に住んでいて、学校が災害のときの避難所になっています。今後はどうなるのかという点が一点。そして、豊栄高校の歴史が長いというお話でした。地域で望まれてできた高等学校で、卒業生や地域の人の誇りでもあると思いますので、学校の歴史、新潟北高校もそうですが、それぞれの学校の歩み分かるような情報コーナー、そういうようなご配慮をお願いできればと思います。

### **県高等学校教育課長**

ありがとうございます。豊栄高校については歴史もあり、地元から愛されている学校でもあります。我々としましても、二つの学校が統合されたからすぐに何もなくなるということではなくて、過去の統合校でもそうですが、必ず歴史について、統合されたあとも、場所を確保して展示するような場所はきっちり確保したいと思っています。

### **県教育長**

避難所については、早通コミュニティ協議会で説明させていただいたときも話ができました。避難所の問題はあると思っていますので、北区の区長ともいろいろお話をさせていただいています。避難所そのものは最終的には市役所で場所を決める話ですが、学校がそこに今後なくなる可能性があるということも含めて、どうしていくかは今後もしっかり検討していきたいと思っています。

豊栄高校の場所は、立地としては山の中の学校ではないので、既に複数の方から、跡地を何か使わせてもらえないかという話はきています。ただ、まだ生徒さんもいらっしゃるの、そういう話を具体的に進められませんが、今後の利用も含め、その中で、避難所の問題も、我々としても新潟市とよく相談していきたいと思っています。

### **前田会長**

ほかにないようであれば、終わります。佐野教育長、教育委員会の皆さん、大変ありがとうございました。

## (2) 新潟市バス停上屋等整備事業補助金について

### 前田会長

次に、報告事項(2)「新潟市バス停上屋等整備事業補助金について」、都市交通政策課から説明をお願いいたします。

### 都市交通政策課係長

報告資料1をご覧ください。都市交通政策課では、バス待ち環境をよりよくする、雨風が吹いたりなど、非常に厳しいところに上屋を作る設置費用を半額補助する制度を設けています。昨年度から行っている制度ですが、バスを待つためのスペースでの上屋の設置、あるいはベンチの設置、時刻表示等を行う情報案内など、いろいろなことを整備するための調査、設計、材料費、工事費といったものが補助の対象となっています。撤去費は対象になりません、補助の対象については、個人でも大丈夫です、もちろん法人や地域団体、自治会でも大丈夫です。例えば地域の皆さんで、最寄りのバス待ち環境、バス停の環境をよくしたいということを検討するときに、この制度をご利用いただきたいと思います。機会がありましたら、地域の皆さまにご周知いただければありがたいです。

詳細は、都市交通政策課にお問い合わせください。

### 前田会長

今の説明にご意見やご質問がありましたらお願いします。

### 佐藤(康)委員

スクールバスは対象になりますか。

### 都市交通政策課係長

路線バス、区バス、住民バス、エリアバス×タクなどといった公共交通を対象にしています。あとはそのバスの公共性がどのくらいかというところになると思いますので、詳細の部分はまたご相談させていただければと思いますが少し厳しいかもしれません。

### 前田会長

ほかにないようであれば、都市交通政策課の皆さん、大変ありがとうございました。

### (3) にいがた雪の日辞典の発行について

#### 前田会長

次に、報告事項(3)「にいがた雪の日辞典の発行について」、土木総務課から説明をお願いします。

#### 土木総務課

本日は、現在作成している「にいがた雪の日辞典」について説明させていただきます。

まず、新潟市が行っている大雪に関する市民広報の取組みについて説明いたします。報告資料2をご覧ください。

令和3年1月に、新潟市内では短期的な異常降雪に見舞われました。新潟市では、このときの除雪作業で表面化したさまざまな課題について、外部の有識者や関係団体等の皆さまから広く意見を集め、相互共有するとともに、持続可能な除雪体制への改善につなげるため、新潟市除雪体制等検証会議による検証を実施いたしました。昨年7月には、検証会議による最終とりまとめが行われ、除排雪の効率化、市民広報の積極的な展開、PDCA サイクルの構築を三つの柱とする提言書が提出されたところです。

市民広報の接触的な展開として、大雪は災害であることへの理解・浸透を図ることや、大雪時の行動変容を促すこと、除雪体制の市民周知を図ることとされており、これに基づき、昨年度の除雪からさまざまな取組みを行っています。

降雪期前には、大雪は災害であることへの理解・浸透や、除雪体制の市民周知を図るため、各種媒体を活用した広報活動やイベントなどを実施しています。また、降雪期になりますと、日頃から大雪への備えや最新の情報を確認するよう促すため、市のホームページ内に各種情報を集約した特集ページを設置するほか、大雪時には、降雪の状況に応じて、不要不急の外出抑制などについてSNSやホームページをつうじて情報発信を行っています。今回紹介する「にいがた雪の日辞典」は、これらの大雪に関する市民広報の取組みとして新たに作成しているものです。

お配りしているパンフレットは、現在作成中のものとなります。今後修正が生じる可能性もありますので、ご留意いただけたらと思います。

今回、パンフレットの内容につきましては、三つのポイントに着目して編集しています。一つ目は、これまで発行した「にいがた『ゆきみち』ガイド」の大雪や災害の内容を踏襲し、自助、共助、公助の視点を加えて整備しています。二つ目は、これまで道路除雪に関するお問い合わせを中心とした内容でしたが、市民の皆さまへのお役立ち情報として、大雪への備えや水道管の凍結、ごみ収集などライフラインに関する記載を充実させました。三つ目は、SNS を



活用したプッシュ型の広報を推進するため、新潟市公式 LINE などへの登録を促す内容を追加しました。外出時に大雪に巻き込まれた際など、いざという時にスマートフォンなどのモバイル端末から情報を入手しやすくする取組みです。皆さまもご活用ください。

これらの着目点に加えて、初めて新潟に来た方でも雪国の暮らしについて理解できるよう、記載に配慮して作成しています。

なお、この冊子は、内容の更新や情報の追加を行いながら、毎年発行していくことを考えております。

最後に、このパンフレットは、11月中旬から各自治会をつうじて、各ご家庭への配布をお願いさせていただきたいと思っております。大変お手間をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 前田会長

今の説明に、何かご意見やご質問がございましたらお願いします。

### 清水(文)委員

毎年、雪が降ったときに、オペレーターが除雪機を使って除雪するのは大変ご苦労だと思って感謝しております。そこで、除雪業者選定に当たりまして、区としてはどのような選定基準で事業者を選定しているのでしょうか。

もう1点は、オペレーターの技術に相当差があるように感じます。昨今の消雪化によって、2024年問題も含めて、業者がなかなかいないということも分からないわけではないのですが、その技術の差によって、場合によってはガードレールや歩道の縁石を壊したり、壁を壊したりということが、冬が終わったあとに大体毎年出てくるような感じがしています。ある程度のリスクはみているのだらうと思いますが、これを少なくするためのオペレーターに対する技術の指導とか、ある程度の技術を持った人がオペレーターとして除雪作業に参加するとか、そういう基準のようなものがあるのか。ないのであれば、どのように教育して技術のレベルをあげていくのかというような取組みを、分かる範囲でいいのですが、教えていただければありがたいと思います。

### 土木総務課

ありがとうございます。

まず、最初の除雪業者の選定に関しては、明文化された基準はありません。各区役所で、例えばその業者さんがどのような機械を持っているか、普段そういった機械を扱う経験があ

るのかどうかなどを踏まえながら選定していると認識しています。

オペレーターへの研修については、おっしゃるとおり、機械に対する不慣れな部分もあるかとは思いますが。市の除雪を行うためには、まずその機械の免許を持っていることは最低条件で、さらに、市で行うオペレーター研修の機上講習を受けることを義務づけています。これは車道の除雪を行う機械の機上講習で基礎的な知識を身に付けてもらい除雪をしていただく。また、これと併せて、毎年人数に限りはありますが、熟練のオペレーターを講師に、除雪の機械の操作を行う実技系の研修も毎年行っていて、今年度は11月15日に中央区で行う予定です。

### **建設課長**

建設課から補足させてください。

除雪業者の選定は、北区については、今言った保有機械の種類に加えまして、なるべくそこに早く行けるようにその路線に近い業者の選定をしています。

それから、この除雪に関することについて、多分皆さん、いろいろな意見、要望等があると思います。それで、北区では来月11月に除雪に関する要望と意見を皆さまから募集してお答えする場を作りますので、要望等は今回控えていただき、その場でお願いいたします。案内は事務局から皆さんに行くと思います。

### **清水委員**

今の説明で大体分かりました。もう一つ付け加えて、自分が除雪する道のどこを気を付けなければいけないのかということは、雪が降ってからでは遅いわけですから、雪が降る前にきちんとオペレーターが習熟して、それで降雪時に仕事をしてもらうというところに今一度力を入れてもらって、万全を期してもらいたいと思います。よろしく申し上げます。

### **前田会長**

ありがとうございました。今、建設課長がお話しましたが、来月、この件については十分に議論するということになりましたので、ぜひ、用紙が行きましたら要望を出していただければと思います。

### **伊藤委員**

リーフレットについて、11月半ばに各家庭に配布されるということでした。今後、転入された人へは、転入時に情報が行くのか。あと、これは日本語版だけでしょうか。外国の方

には窓口で相談対応されているのか、教えていただけますか。

## 土木総務課

こちらのパンフレットは、11月半ばまでに各自治会を通じて全戸配布をお願いします。

外国人の方への対応に関しては、今回、そこまでは用意していない状態ですので、何かしらお話があったときの別の対応になるかと思えます。

## 前田会長

ほかにないようであれば、この報告事項を終わります。土木総務課の皆さん、大変ありがとうございました。

## (4) 令和4年度区づくり予算事業の報告について

### 前田会長

次に、報告事項(4)「令和4年度区づくり予算事業の報告について」、事務局から説明をお願いいたします。

### 副区長

報告資料3をご覧ください。企画立案に当たり、自治協議会の委員の皆さまからご意見をいただいた特色ある区づくり予算の、令和4年度の事業実績の報告となります。

表紙をめくって裏面をご覧ください。令和4年度事業の一覧となっています。各所管課の課長から説明をさせていただきます。最初に、地域総務課分です。

1 ページをご覧ください。「木崎村小作争議100周年事業」。計画内容の令和4年度をご覧ください。5月28日から8月28日まで企画展を実施。6月11日、7月2日に縁の地のバスツアー、そのほか地元中学生見学会、また100周年事業の記録と追補を発行するなど、歴史的な事がらを次世代に引き継ぐよう取り組みました。

2 ページをご覧ください。「大学連携『ひと・まち』づくり推進事業」です。計画内容①新潟医療福祉大学の学生がコミュニティ協議会や小中学校などに出向き、地域活動支援や学習、部活動支援などを行いました。また、その内容を動画にし、各地域、小中学校へ配付しました。③報告会を開催しました。

次に3ページをご覧ください。「キテ、ミテ、北区役所」です。計画内容をご覧ください。北区役所内1階の交流スペースで、葛塚まつり「お休み処」設置を産業振興課と共に実施、またジュニアマーチングバンドによる演奏や県立豊栄高校の美術、書道の作品展示など、地

域拠点の機能の向上や賑わい創出などに向けて取り組みました。

4 ページをご覧ください。『高めよう互近助力』地域でつくる避難生活運営体制事業」です。コミュニティ協議会と協働してモデルとなる避難所運営組織の立ち上げ支援を行うことを目的に、令和4年度から実施しています。令和4年度は北区内の2地域、岡方、濁川を対象にワークショップや避難所運営訓練などの支援を行い、結果として、対象地区内の全ての避難所で運営組織が結成されました。

15 ページをご覧ください。自治協議会提案事業です。

地域づくり部会の「めざせ防災力向上!」。濁川地区、木崎地区の2地区で地域団体や学校と連携して、幅広い世代に向けた体験型の防災啓発イベントを行いました。

16 ページをご覧ください。福祉教育部会の「子が育ち、大人が育つまちづくり」です。定年退職後の人や地域活動に興味がある人に、活動を始められるようあと押しする講座や、「行ってみよう大学!」ということで、新潟医療福祉大学を利用した体験講座等を行いました。

17 ページです。自然文化部会の「北区魅力発信継承事業」です。区内外へ魅力を発信、愛着の醸成を図り、次世代の人材育成につなげるために、福島潟をテーマにトークセッションや北区の魅力をテーマにフォトコンテストを開催しました。以上です。

## 区民生活課長

5 ページをご覧ください。「北区水辺環境フィーチャリング事業」です。岡方地区の十二潟と松浜地区のひょうたん池において、地域団体が主体となって近隣の小学校と連携し、水辺環境の保全を行うとともに、生息する動植物の観察会を実施し、魅力ある水辺環境づくりを推進しました。詳細については資料のとおりです。

## 健康福祉課長

6 ページをご覧ください。「北区子育て応援事業」は、地域で子育てを支えるための事業をパッケージにして実施しているものです。一昨年までの事業に加え、令和4年度、③、⑤、⑥の新たな事業を実施しました。これらの事業をつうじて、コロナ禍の中でも地域で子育てを支え合う北区らしい取組みの一翼を担えたと考えています。

7 ページをご覧ください。「北区もの忘れ検診」は、北区医師会が無償でご協力いただいております。65歳以上の高齢者に対して、特定健診等にあわせて簡単な検査を実施することで認知症の早期発見を目指す事業です。令和4年度は873名が受診、精密検査や経過観察が必要と診断された9名は、全て地域包括支援センターがかかわり、必要な支援につなげました。

8 ページをご覧ください。「大学生による家庭介護セミナー」です。この事業は令和元年度に自治協議会提案事業として行われた事業を、区の実施事業として継承し、昨年度までの3年間、継続実施しました。新潟医療福祉大学社会福祉学科の学生による介護技術セミナーをつうじて、家族介護の知識を深めつつ、地域と学生の交流を図りました。事業を行っていた3年間、ちょうどコロナ禍と重なり、定員を大幅に減らすなど大変厳しい状況でしたが、参加者からは「学生から介護の知識を教えてもらえた」と、好評価をいただきました。区づくり事業としては昨年度で終了しましたが、その後も地域で同様の事業に取り組みたいという問い合わせもいただいております、継続的な取組みにつながりつつあると考えています。

### 産業振興課長

9 ページ「海辺の森共創の場形成事業」です。市民の憩いの場として親しまれている海辺の森の良好な森林環境を維持するため、除草や植栽など、地域の自発的な保全活動を支援しました。また、地元住民が設立したコミュニティビジネスの活動を支援し、森林資源の利活用を図りました。

10 ページ『「次世代農業」普及事業』です。北区特産さつまいも「しるきーも」の生産販路拡大のため、生産団体への支援やしるきーもマルシェの開催支援を行うなど、広報宣伝に努めました。また、県内で6割のシェアを誇るトマトの栽培作業の省力化およびICT機器の普及促進として、コンテナ栽培と自動灌水設備のモデル実施を行い、収量、品質面で良好な成果を得ることができました。

11 ページ「地域商業にぎわい創出プロジェクト」です。地域商業にぎわい創出プロジェクトは、葛塚と松浜、それぞれで地域の魅力を活かした各種イベントを実施して商店街の活性化を図りました。

12 ページ「キタクなる魅力創造プロジェクト」です。民間会社と連携したバスツアーの実施、市場商品券の発行、観光PR資料の作成などを行い、観光資源の魅力発信に努めました。

13 ページをご覧ください。「北区エンジョイスポーツ事業」です。競技別大会、フロアカーリング交流戦、各種スポーツ体験会を盛り込んだ「エンジョイスポーツ in 北区」や、「北区元旦歩こう会」を開催し、スポーツ振興および健康増進に努めました。

### 建設課長

14 ページをご覧ください。「松浜海岸の自然環境保全と地域の魅力づくり事業」です。毎年、松浜海岸における飛砂被害の軽減と、自然環境の保全を目的に、アキグミの植栽と飛砂防止ネットを設置しています。植栽に関しては、保水性を保つため掘った穴に堆肥等を入れ

たり、1平方メートル当たり4株と密集して植えたり、工夫しながら実施しています。今年も先週行いましたが、子どもたちの楽しみながら植える姿を見ることができました。今後も継続して実施していきたいと考えています。

#### 前田会長

今の説明に対して、ご質問やご意見がありましたら、お願いいたします。

#### 川島委員

十二瀨のヒシが有害植物となって除去していますが、ヒシというのは有害植物なのですか。

#### 区民生活課長

ヒシが大量発生した場合は、希少な植物、十二瀨にあるアサザとガガブタを守るために、ヒシの生息を少し抑えているという状況です。

#### 川島委員

有害植物と書いてあるので、有害かということを知っています。これは自然のものであって、例えばヒシは外来種なのか、あるいは危険だからということによって有害なのかということを知りました。

#### 前田会長

私から言っていていいですか。私は岡方コミュニティ協議会にいます。今、言われたように、アサザとガガブタというのは、非常に特殊な植物で、絶滅危惧種に入っている。そこにヒシが大繁茂すると光を遮られて、花が縮小していく。それで、毎年9月くらいになると、ヒシを撤去しています。要は、貴重な生物の草花を守るために、どうしても撤去してやらないということに対応しています。

#### 川島委員

ヒシをその中に育成することをやめよというわけではないのですね。分かりました。ありがとうございます。

#### 前田会長

ほかになれば、この件は終わります。

## (5) 令和6年度区づくり予算事業の提案について

### 前田会長

次の報告事項(5)「令和6年度区づくり予算事業の提案について」、副区長から説明をお願いいたします。

### 副区長

はじめに、報告資料4-3をご覧ください。スケジュールの修正後の資料です。修正前は、提案状況は11月の自治協議会で説明し、最終的には12月の自治協議会で予算事業案全体の意見聴取をし、承認いただくスケジュールでしたが、このたび、提案事業について1か月前倒しで説明をさせていただくものです。また、委員の皆さまから7月の自治協議会でいただいたご意見については、全て反映できない部分があることは、誠に恐縮ですがご了承ください。見直しや検討を要するなどのご意見等については、この機会にまたご意見等をお寄せいただければと思います。そして12月には、予算額案を含め、事業案をお示しし、最終的にご了解いただきたいと考えております。12月でご意見をいただいた部分は、微修正あるいは事業実施の際に、可能な範囲での反映となる場合があるということをご了承ください。

報告資料4-1をご覧ください。全体では区づくり事業が11事業、区づくり事業以外の区関連事業が3事業、網掛けとなっている部分、合計14事業となっています。これとは別に各部会で現在検討していただいている自治協提案事業が3事業あるということになります。これは現在、検討中のものです。4件の新規事業について、簡単に触れさせていただきます。

5番の「大学連携『ひと・まち』未来づくり(仮)」という事業です。これは具体的な部分の詰めがこれからのところでもあり、事業名に仮と入れています。内容は、葛塚地区で、地域活性化のために空き家を活用して設置した拠点会場に、大学が、区民の身近なテーマで継続的に講座を開催することなどをきっかけに、地域にさらに溶け込むことで、課題解決の糸口を地域の方々、民間事業者の皆さまとともに探り、解決に取り組んでいきたいというものです。初年度は連携のきっかけづくりとなる講座の開催等を重点的に行いたいと考えています。

7番、「北区トマト王国プロジェクト」です。県下一の出荷量を誇る北区産のトマトの魅力を県内外に発信し、ブランド力の強化と園芸産地の活性化を図ります。

8番、「商店街ブランディング事業」です。地域商業の活性化のため、商店街や商店の新規顧客獲得につながる取組みを実施するとともに、地域の商店街活性化などのテーマに沿ったコンテンツ開発やPR展開を行い、地域への愛着形成及び継続した賑わい創出を進めていきます。

11 番、「北区部活動の地域移行推進事業」です。令和 8 年度からの部活動の地域移行に向け、関係機関との協議、検討を進め、モデル事業等の各種取り組みを実施して、段階的な移行を進めていくものです。これについては、短い時間の中で計画していて、検討中の事業です。北区では新潟医療福祉大、ハピスカとよさかななど、特徴的な団体等と連携しモデル的な取り組みを行っていきたいと想定しています。これは、市全体の問題にかかわりますが現段階では全体概要は未確定です。今は区づくり事業の中に入れていますが、今後状況に応じては、区づくり予算の枠外などで、市全体での何かしらの予算要求があるかないかに関しても視野に入れながら進めているところです。

また、7 月に自治協議会の委員の皆さまからいただいたアイデアについては、この資料の番号の 2 番、4 番、6 番、7 番、9 番、14 番ということで、反映しています。なお、市全体に関わるものですがすぐには反映できないものや、既存事業で実施または趣旨を反映しているものもありますのでそのへんはご了承ください。

ご意見等の詳細については、報告資料 4-2 のところに記載していますので、後ほどご覧ください。その他、一覧表に記載の全ての事業及び自治協提案事業については、予算枠は現在調整中ですのでご了承ください。

12 月の自治協議会で予算金額も含めて案をお示しし、承認いただきたいと考えています。併せて、各部会で来年度の自治協議会委員提案事業を計画、決定していく際の参考としていただければと思います。

## 前田会長

今ほどの説明で、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

## 菊地委員

9 番の北区郷土博物館の地域魅力発信事業で、芸能活動に携わっている方たちに何とか補助金が出ないものかという提案をしました。芸能を守ったり進めていくためにはどうしてもお金がかかります。今、芸能活動をしている人たちの話を聞くと、やはりお金の面で非常に苦労していると聞きます。何とか補助金等を付けることができないかというのが私の意見ですが、いかがでしょうか。

## 副区長

ご意見ありがとうございました。これについては、コロナ禍の中で、地域の芸能活動とまではいかないのですが、例えば太鼓の張替えなどについては、令和 3 年度から 4 年度に補助



金が出ました。各自治会にも周知し、皆さまからご利用いただきました。

なかなか、活動までの補助は出ませんが、少しでも菊地委員と同じ方向を向きながら活動を進めていきたいと考えています。

#### **菊地委員**

ぜひ検討をよろしく願いいたします。

#### **前田会長**

ほかにないようであれば次に進みたいと思います。

#### **(6) 部会の会議概要について**

##### **前田会長**

報告事項の(6)「部会の会議概要について」、各部部长から順に報告をお願いいたします。

#### **佐久間委員**

地域づくり部会です。前回の9月の部会では、ハザードマップの見方などの防災講習を、地域総務課の職員を講師に行いました。総合ハザードマップ、北区河川別ハザードマップをつうじて、北区の状況や日ごろの備えについての講義を受け、そのあと、意見交換を行いました。今後の部会の日程調整について、本日このあと、15時30分から、福島潟及び新井郷川の治水事業について、県の新潟地域振興局の方からお話をいただく予定です。11月に、長岡震災アーカイブセンターきおくみらいへの視察研修を企画しました。皆さんのところにご案内が届いたかと思いますが、現時点で、委員が11名の参加ですが、まだ余裕がありますので、希望する人は、数日中に申し出てください。

#### **清水(博)委員**

福祉教育部会です。自治協議会委員提案事業調査・研究活動について、全体会議で報告したアンケート項目の内容について意見交換を行いました。今後のスケジュールについては、10月に事業内容詳細の決定、11月に新潟医療福祉大学見学、12月にアンケート結果を検討し、1月に防犯交通安全の講義、2月には振り返り、3月には事業準備という内容で予定しています。

新潟医療福祉大学見学については、事務局で検討していただいています。

新潟医療福祉大学との連携講座企画案について。委員からでた四つの案について検討を行

いました。今日また検討していきたいと考えています。

#### **小日向委員**

自然文化部会です。

今年度は、来年の計画に備えて見ておこうということで、7月27日に松浜のひょうたん池、島見浜海水浴場、海辺の森、8月28日は新井郷川漁業協同組合のご協力をいただき福島潟を1時間程度船で回り、そのあとに福島潟の食材を使ったものを試食しました。9月26日に北区郷土博物館で1時間半ほど見学と学芸員の話聞かせていただきました。

9月にそれらの振り返りと反省会をし、今日の部会で、来年度の計画を詰めていきたいと考えています。

#### **前田会長**

今の報告について、ご質問やご意見等がありますか。なければ次に移ります。

### **3 その他**

#### **前田会長**

次第3の「その他」でございます。事務局から何かありますか。

#### **豊栄地区公民館長**

豊栄地区公民館と北地区公民館から、ご案内です。

ピンクのチラシ、「天気痛とツボを知り不調を解消!」、こちらは新潟医療福祉大学との連携講座です。大学の新設学科、鍼灸健康学科の協力を得まして、体の不調とつぼを知る、セルフケアを学ぶ講座となります。

オレンジ色のチラシ「こだわりから学ぶ」は、20歳代から30歳代の方を対象にした講座です。新潟バーベキュー協会のパンチョ須田さんほか、飲食へのこだわりがきらりと光る方々の講座となっています。また、北区役所で展示のイシヤマヒロコ様の「ハンドフェルトの宙」、こちら、松浜の方の作家さんとなります。

北地区公民館からは、文化祭をご案内します。コロナ禍で4年間展示が難しかったものが本格開催となりました。ぜひ豊栄地区公民館、北地区公民館に足をお運びください。

#### **菊地委員**

今年、東区にあるエコープラザが閉館になりました。ずいぶん前、篠田市長のときに、プ

プラスチックから油を作るということで進めていたと思います。実際、私たちから集めたプラスチックは、どういう形で処分されているのか、少し疑問に思っていました。実際、プラスチックから油を作ることというのは、できたのかどうか。それに付随して、草や木を集めて、当時は、それを堆肥として再利用しようとして進めていたと思いますが、それもどうなっているのかもお聞きしたくて、分かりましたらお願いします。

#### **区民生活課長**

所管は区民生活課ですが、本課に確認しながらお答えしたいと思いますので、次回の宿題にしてもいいでしょうか。

#### **菊地委員**

急ぐわけではありませんので、よろしくお願いします。

#### **産業振興課長**

木の枝とか草の件だけは、私、以前に活性化研究センターにいまして、そこでの情報ですと、西区にプラントがあり、集めたものを堆肥化して、そこで販売されています。一部、その再処理している法人が耕作放棄地に還元するという形で、西区、西蒲区などの耕作放棄地にその土をやり、農地回復している貢献をさせてもらっています。

#### **菊地委員**

ありがとうございました。私が心配していたのは、そのプラントが、油を本当に作れたのか分からないような状態で、民間の企業であれば倒産するくらいのお金、税金を使って作ったわけなので、それが、私に言わせると大失敗したのではないかと少し心配して、知りたいと思ってお聞きしました。

#### **前田会長**

では次回、回答をお願いします。ほかにございませんでしょうか。なければ、議事はこれで全て終わりましたので、事務局に進行をお返しします。